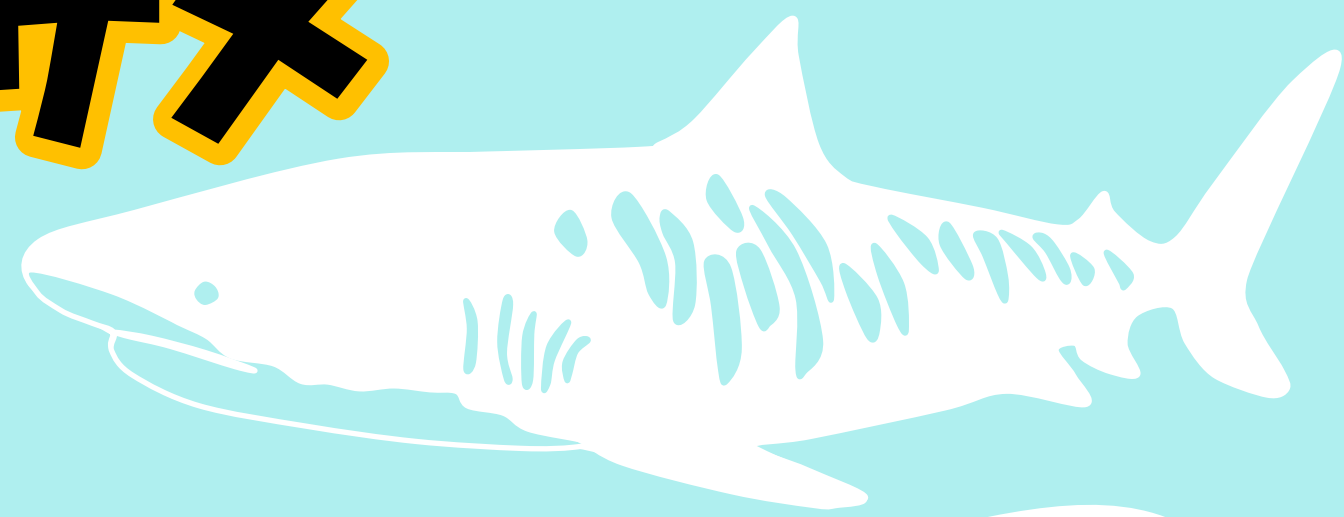


悪魔の異名をもつサメ ミツクリザメ



全長230cm

(沖縄美ら海水族館 深海コーナーで標本を展示中!)

ミツクリザメ

英名：goblin shark

学名：*Mitsukurina owstoni*

分布：東京湾、駿河湾、相模湾をはじめ、世界中の大洋

悪魔とよばれる
そのわけは？

こんな魚見たことない？
おそろしげな見ためから
goblin shark(悪魔ザメ)
ともよばれる！

奇妙なあごの形！
前に大きく
飛び出した顎には、
細くて鋭い歯が
並んでいる！



すんでいるところ：
深海（200mより深いところ）
→生きているミツクリザメの観察は
とてもむずかしい！

研究者たちは顎の使い方について色々な想像を巡らせたが、
結局、顎の使い方はナゾのまま…

しかし！



2008年にNHKのカメラマンが

ミツクリザメがエサを食べるようすを世界で初めて撮影！

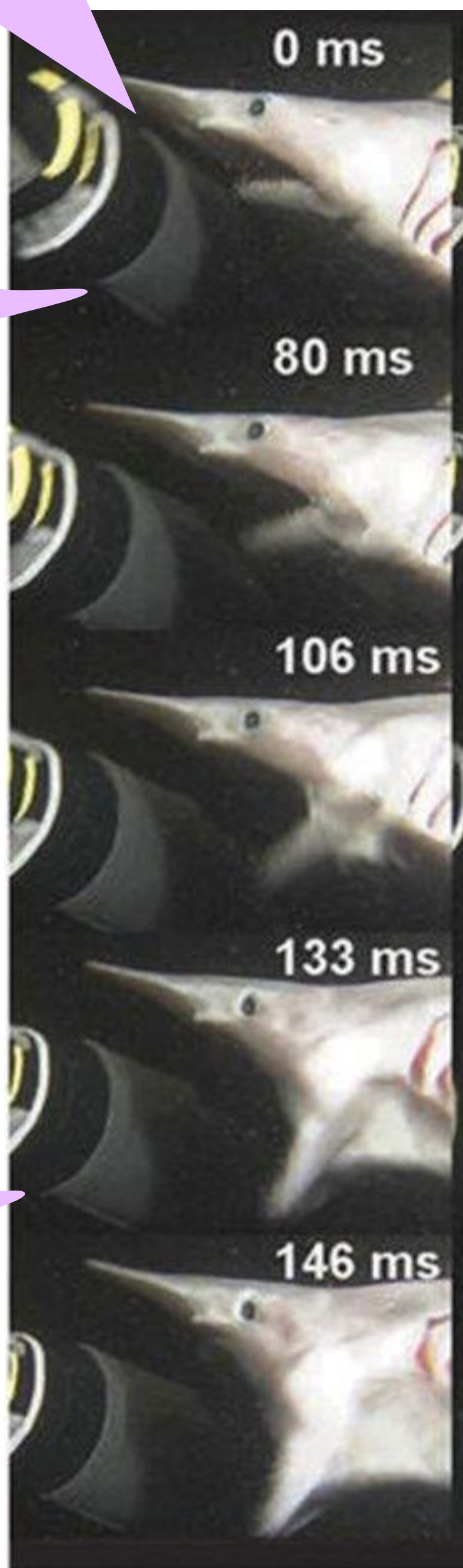
そのおどろきの行動が明らかになった！

顎を発射！ ミツクリザメの驚きの捕食行動 (エサの食べ方)

想像を超えた？

撮影された映像からわかった顎の使い方

普段は、
頭の方におさまっている



エサが近づくと
口を大きくあけて…

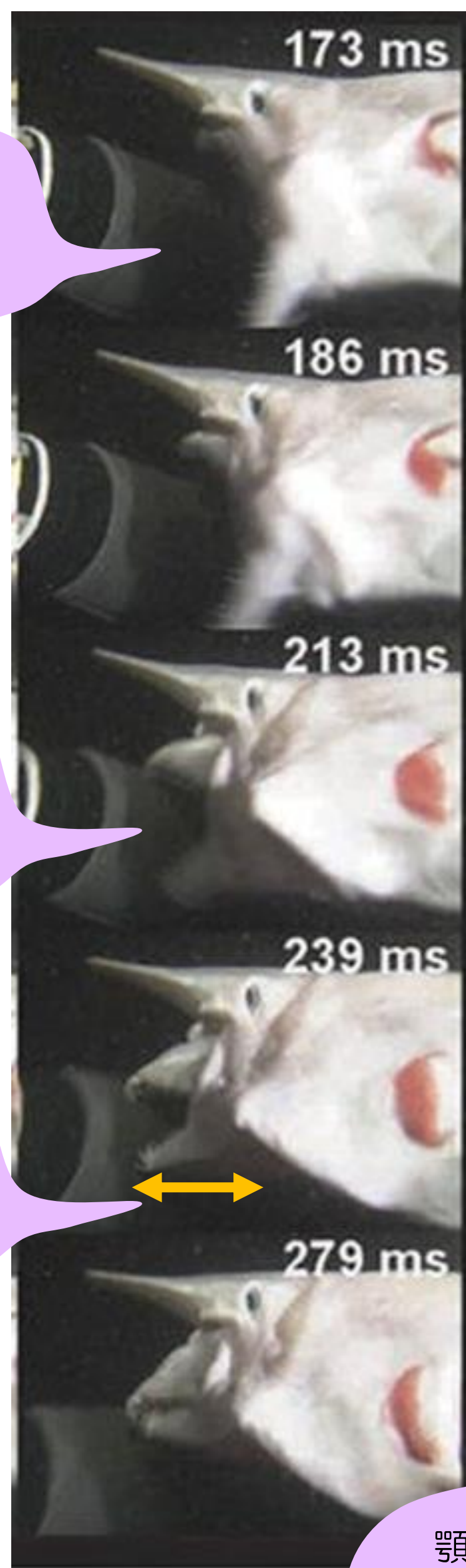
中から顎が！！



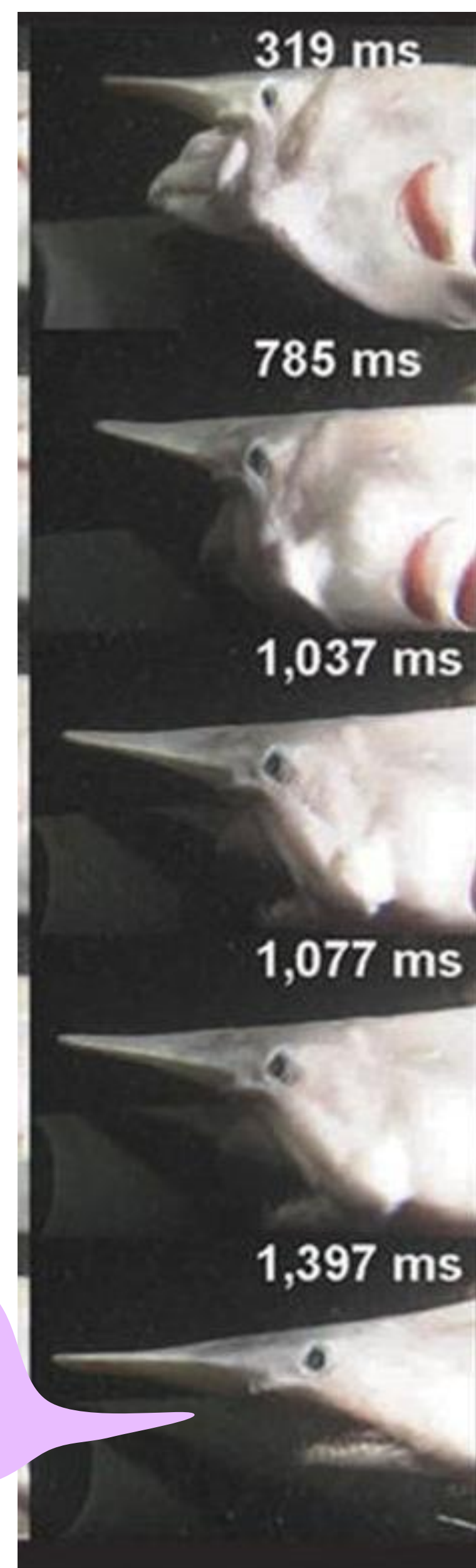
顎が出てくる速さは
秒速3メートル！

顎が出てくる距離は
体長のおよそ10%！

※ 体長が2mだとすると
20cmも前に出るってこと！



顎を出して戻すまでの
時間は
わずか0.6秒！



ミツクリザメは深海をゆっくりと泳ぎ回るサメだと考えられている。
エサに出会える機会の少ない深海で、見つけた獲物を確実に捕まえるために、
ミツクリザメのこの能力は役立っていると考えられる！



日本人の名前がついたサメ

名前の由来!

ミツクリザメの名前は、東京帝国大学動物学教授であった
箕作佳吉にちなんでつけられたものです。

箕作は、イギリスの貿易商人アラン・オーストンから相模湾で採集
されたミツクリザメの標本の寄贈を受けました。

のちに、この標本はアメリカの魚類学者デヴィッド・ジョーダンの
手に渡り新種のサメ *Mitsukurina owstoni* として発表されました。

この記念すべき第一号標本は、現在東京大学に保管されています。



箕作佳吉 (みつくり かきち)
1858-1909

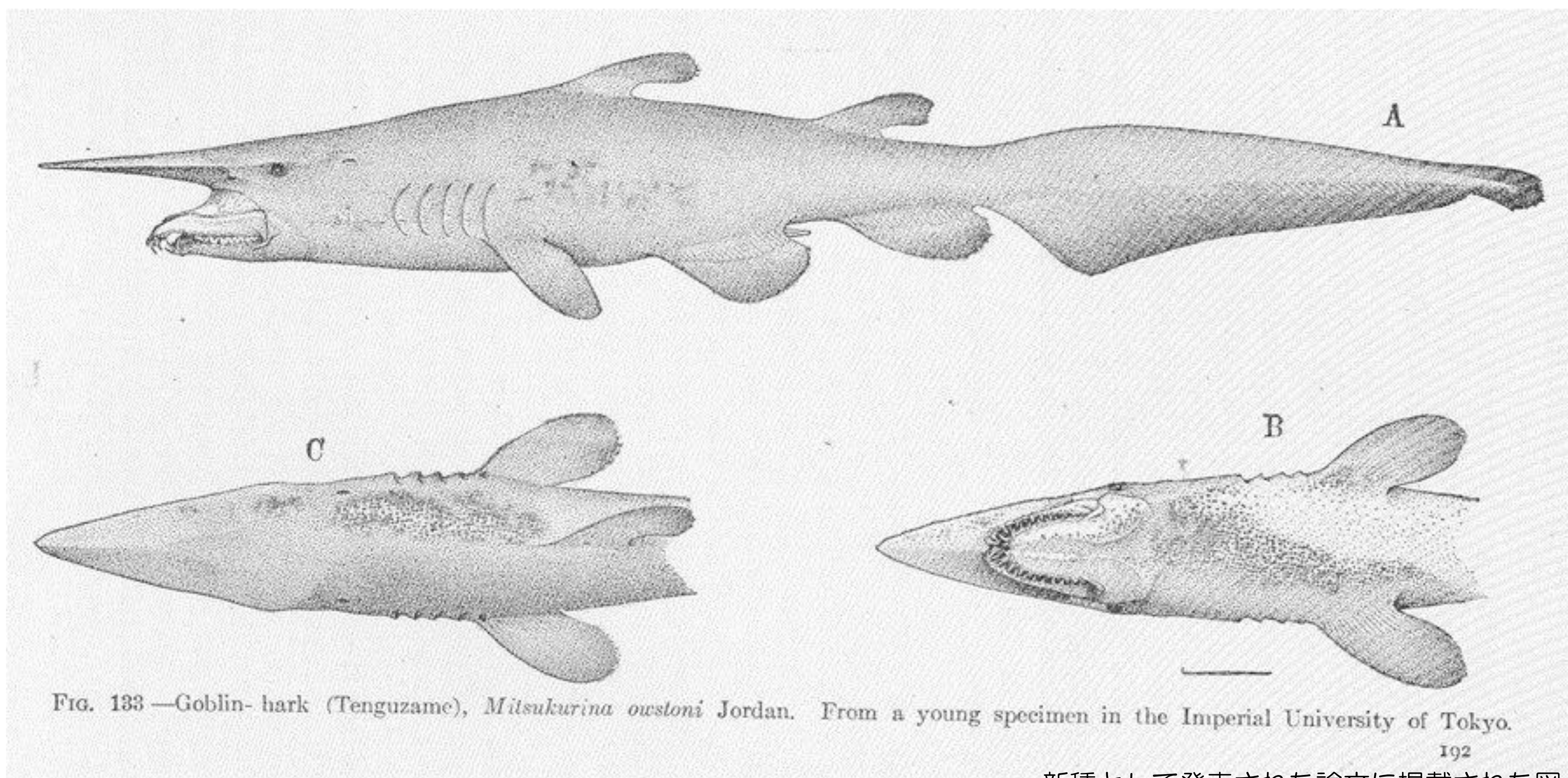


Fig. 133 —Goblin-hark (Tenguzame), *Mitsukurina owstoni* Jordan. From a young specimen in the Imperial University of Tokyo. 192

新種として発表された論文に掲載された図

大人はどこに? ミツクリザメの

謎

ミツクリザメは完全に成長すると
体長5メートルに達する大型のサメと
考えられていますが、採集されるのは
主に体長2メートル以下の若年魚ばかりで、
大人のミツクリザメがどこにいるのか
未だに分かっていません。

